



2017年8月24日

各位

会社名 MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 グループCEO 柄澤 康喜  
(コード番号：8725 東証・名証各第一部)  
問合せ先 広報・IR部 課長 内藤 雅人  
(TEL 03-3259-1347)

## 「Fairfax Financial Holdings」とのグローバル・パートナーシップの締結と シンガポール損害保険会社「First Capital Insurance」買収に関する基本合意について

当社の連結子会社である三井住友海上火災保険株式会社（社長：原 典之、以下「三井住友海上」）は、カナダ大手の保険・金融グループである Fairfax Financial Holdings Limited（以下「Fairfax 社」）とのグローバルなパートナーシップを結ぶとともに、Fairfax 社グループ傘下でシンガポール最大の損害保険会社である First Capital Insurance Limited（以下「FC 社」）の買収（以下「本件買収」）に関する基本合意に至りました。

### 1. グローバルパートナーシップと本件買収の背景

三井住友海上は Fairfax 社と再保険等を含む幅広い分野における提携可能性を視野に入れ、広範かつグローバルなパートナーシップを結び、両社の更なる成長と企業価値の向上を目指します。

当社および三井住友海上は、中期経営計画「Next Challenge 2017」のもと、成長の持続、健全性の確保、および収益性と資本効率の向上を基軸とした、企業価値の向上に取り組んでいます。海外事業はそれらを支える成長エンジンの位置付けであり、成長性・収益性の高い領域へ継続的に投資することで、ポートフォリオの多角化を進め、リスクの分散と安定的な利益の拡大を図ってきました。

こうした戦略のもと、2004年の英国 AVIVA のアジア損害保険オペレーション買収を契機として、アジアを中心に業容を拡大し、アセアン地域において収入保険料規模でトップの損害保険グループへと躍進を果たしました。さらに、将来の成長が見込める新興国市場の深耕を通じて、収益基盤の強化を進めるとともに、世界の主要な保険市場である欧米においても、欧州大陸での元受事業や 2016年2月の英国 Amlin（現 MS Amlin）買収などを通じ、着実にプレゼンスを高めています。

今般、アセアン地域における主導的地位の維持・向上や、三井住友海上の既存事業との高い補完効果とシナジー発揮の観点から、同社子会社でシンガポール損害保険市場のマーケットリーダーである FC 社の買収に関して基本合意に至りました。

## 2. 本件買収の概要

- (1) 買収対象：First Capital Insurance Limited
- (2) 買収手法：三井住友海上が FC 社の株式の 97.7%を取得
- (3) 取得株式数、取得価額および取得前後の株式の状況

異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%)
異動後の所有株式数	24,427,799 株 (取得する議決権の数：24,427,799 個) (議決権所有割合：97.7%)
取得価額	FC 社の普通株式：約 16 億 US ドル (約 1,744 億円) アドバイザー費用等 (概算額)：約 11 億円 取得価額合計 (概算額)：約 1,755 億円

- (4) 買収条件：普通株式 1 株当たり 65.5 US ドル  
買収価格は、同社の 1 株当たり純資産<sup>(注1)</sup>の 3.3 倍に相当します。
- (5) 買収資金：本件買収の資金は、三井住友海上が保有する手元資金により充当<sup>(注2)</sup>する予定です。
- (6) 完了時期：関係当局の承認等を前提として、2017 年度第 4 四半期中 (2018 年 1 月 - 3 月) の完了を予定しています。  
(注 1) 2016 年度期末時の実績値で、1 シンガポールドルあたり 80 円として換算しています。  
(注 2) エクイティファイナンスは行いません。  
※FC 社の数値を 1US ドルあたり 109 円として換算しています。

## 3. FC 社の特長

- (1) シンガポール保険市場でのプレゼンス  
FC 社は、シンガポールで収入保険料第 1 位を誇る損害保険会社であり、年間 70 億円規模の利益をあげる同国のリーディングプレイヤーです。
- (2) 高い収益性  
FC 社は、シンガポールをはじめアセアン地域のローカル企業分野の保険引受に強みを有しており、過去 5 年間の平均コンバインドレシオは 76%、ROE は 15%と、高い収益性を維持しています。また、地域・種目ごとの引受リスクもバランスよく分散されており、かつ、自然災害リスクの引受も抑制されていることから、安定的な収益構造となっています。
- (3) 強固な事業基盤  
FC 社は、ビジネスパートナーとの信頼関係を大切にするという理念のもと、顧客や再保険会社、ブローカー等と、強固かつ長期安定的な関係を築いています。

## 4. 本件買収の戦略的意義

- (1) シンガポール市場における収益性と成長性の向上  
三井住友海上は、FC 社買収によりシンガポール市場で No.1 の保険会社グループとなります。さらに、同社は保険ハブであるシンガポール市場に集まるアジアのローカル企業分野の引受に強みを有しており、日系企業やリテール・中小企業分野に強みを有する三井住友海上の既存事業との間で、ポートフォリオの高い補完効果を見込むことができます。

(2) アセアン市場における主導的地位の維持・向上

三井住友海上は世界で唯一アセアン 10 か国全てに拠点を持ち、同地域の損害保険の総収入保険料規模でトップに位置します。FC 社は、単一の保険会社としてはアセアン地域でもトップクラスの保険料規模と収益を誇り、三井住友海上は FC 社買収によりアセアンでトップのポジションをさらに確固たるものとしします。また、FC 社は今後の成長戦略として、デジタル技術を活用したアジア地域でのリテール事業の強化を掲げており、そのノウハウと三井住友海上のネットワークを融合することにより、アセアン各国でリテール向けの新規ビジネス拡大が期待できます。

(3) Fairfax 社との提携を通じたグローバルでの更なる成長の実現

Fairfax 社は世界 30 か国以上に保険子会社を有するグローバル大手保険・金融グループであり、特に、北米市場やロイズ市場において高いプレゼンスを誇っています（総収入保険料約 1 兆円）。また、デジタル技術の研究・開発を行う組織 FairVentures を運営しており、保険分野におけるグローバルでのデジタル活用に取り組んでいます。三井住友海上は、Fairfax 社と、再保険やデジタル技術の活用等を含むグローバルな提携を視野に入れており、同社との関係を構築することで、海外事業の更なる成長を実現することができます。

以 上

## 1. FC社の概要（2017年7月末時点）

(1) 正式名称	First Capital Insurance Limited		
(2) 設立年	1950年		
(3) 本社	シンガポール		
(4) 代表者の役職・氏名	Ramaswamy Athappan 社長		
(5) 従業員数	約160名		
(6) グループの主な事業内容	損害保険事業		
(7) 資本金	26.5百万シンガポールドル		
(8) 格付	A.M. Best: A (Excellent)		
(9) 上場市場	非上場		
(10) 決算期	12月		
(11) 大株主および持株比率	Fairfax Asia Limited <sup>(注3)</sup> : 97.7% その他 : 2.3%		
(12) 三井住友海上との関係	資本・人的関係はありませんが、再保険取引があります。		
(13) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財務状態（単位: 百万シンガポールドル）			
決算期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
連結純資産	501	578	664
連結総資産	1,753	1,908	1,967
元受保険料	532	548	542
正味保険料	206	184	209
保険引受利益	52	55	67
連結当期純利益	79	80	89
コンバインドレシオ	73.9%	71.4%	67.3%
株主資本利益率 (ROE)	17.3%	14.8%	14.3%

(注3) Fairfax社のアジア地域における持株会社（100%子会社）。

## 2. Fairfax社の概要（2017年7月末時点）

(1) 正式名称	Fairfax Financial Holdings Limited		
(2) 設立年	1985年		
(3) 本社	カナダ・トロント		
(4) 代表者の役職・氏名	Prem Watsa 社長		
(5) 主な事業内容	保険・金融グループの持株会社		
(6) 株主資本	8,484百万USドル <sup>(注4)</sup>		
(7) 格付	S&P: BBB- Stable		
(8) 上場市場	トロント証券取引所		
(9) 決算期	12月		
(10) 三井住友海上との関係	資本・人的関係はありませんが、再保険取引があります。		
(11) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財務状態（単位: 百万USドル）			
決算期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期
連結純資産	9,743	12,018	11,820
連結総資産	36,131	41,529	43,384
元受保険料	7,459	8,655	9,534
正味保険料	6,301	7,520	8,088
保険引受利益	400	532	390
連結当期純利益	1,664	642	▲394
コンバインドレシオ	90.8%	89.9%	92.5%
株主資本利益率 (ROE)	18.6%	6.5%	▲3.9%

(注4) 2016年12月期末時点の Common Shareholder's Equity を使用しています。

## 重要情報

本文書は、いかなる法域においても、MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社の子会社である三井住友海上火災保険株式会社の子会社の異動を伴う株式取得に係わり一般に公表するための発表資料であり、日本国内外を問わず一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

本文書に含まれている情報は、米国における証券の販売の申込みではなく、またこれを意図するものでもありません。米国においては、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または販売を行うことはできません。

## 将来の見通しに関する記載

本文書には、将来の見通しに関する記載が含まれており、これは、現時点で当社が入手している情報を踏まえた仮定、予期および見解に基づくものであり、既知および未知のリスクや不確実性およびその他の要素を内包するものです。かかるリスク、不確実性およびその他の要素によって、当社の実際の業績、財政状況またはキャッシュ・フローが、こうした将来に関する記述とは大きく異なる可能性があります。こうしたリスク、不確実性その他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述の更新を公表する義務を一切負うものではありません。